

競技注意事項

INSTRUCTIONS AND RULES FOR ATHLETES

1. 競技規則について

本大会は2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

① 前日の練習会場は下表の通りとする。

期 日	会 場	時 間
5月1日(日)	主競技場(トラック&跳躍走路)	13:00~16:00
5月2日(月)	主競技場(トラック&跳躍走路)・投てき場	12:00~17:00

② 大会当日の練習については下表の通り区分するので使用方法を厳守すること。

会 場	利用対象者
主 競 技 場	午前9:00までに限りトラックのみ開放する。
補助競技場	決められたレーンで行う。
投てき場	投てき種目のウォーミングアップは練習場係の指示に従うこと。
雨天走路	スタジアム内雨天走路(雨天走路A)は雨天時のみグランプリ種目競技者のみとする。

③ 補助競技場レーンの使用方法について

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル	
HS, BS:1		○		
HS:2・3・4・5・6 BS:2	○			
BS:3・4				
BS:5・6			○	
HS:7・8	○			

HS:ホームストレート BS:バックストレート

3. 招集について(バックスタンド2Fコンコース中央)

① P19 案内図参照のこと

② 補助競技場から各自招集エリアに移動して点呼を受ける。

③ 招集完了5分前までに招集所で待機して、係員からナンバー、スパイク、商標、衣類、持込品等の最終点呼・点検を受け係員のプラカードにより誘導され競技場所に入場する。

④ 各種目招集時刻・完了時刻はプログラム記載の通りの時刻を基準に行い、招集完了時間に遅れた場合は当該種目を欠場したものとみなす。

⑤ 招集時刻は、次の通りとする。(詳細はプログラム2頁競技開始時間表を参照)

種 目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	全種目予選・決勝	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	走高跳、三段跳、円盤等	競技開始1時間前	競技開始50分前
フィールド	棒高跳	競技開始1時間20分前	競技開始1時間10分前

☆ 招集は必ず競技者本人が行う。但し、外国人競技者については、競技者に通訳が同行して行うことを認める。(他の種目に同時刻帯に出場の場合は、先行種目時に招集を済ませること。)

4. 競技について

① トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。尚、800mを除くグランプリ種目においてはスタート・インフォメーション・システムを設置する。1回目に不正スタートした競技者は失格とする。

② フィールド競技の試技時間は制限時間標示装置で表示して、黄色旗で残り15秒を知らせる。

③ フィールド競技の試技順はプログラム記載の順序による。但し、トラック種目は申合せ事項によりスタートリストの編成を競技会前日に行う。

④ 短距離競走のフィニッシュ後は、安全のため自分のレーンを走る。

⑤ トラック競技のスタート合図の言語は、すべて『英語』で行う。(On Your Marks Set)

⑥ 衣類・持物の商標については、WAにて制定された『競技会における広告および展示物に関する規定』に従い、招集所において点検を行い、抵触する場合は是正を求めるとこれに従うこと。

⑦ 競技中における助力は『日本陸上競技連盟競技規則第144条』に従い規制される。これに抵触の場合は審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。

⑧ 200mの脱衣荷物は、スタート時に所定の籠に入れ、主催者側がフィニッシュ地点に運搬、保管するのでフィニッシュ後受取り、係員の指示に従い退場する。

⑨ 用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。投てき器具は別紙に記す。

- ⑩ この競技会の出場競技者はドーピング検査の対象となる。競技終了後ドーピング検査の対象に指名された競技者はドーピング係の指示に従うこと。
- ⑪ 出場競技者は競技終了した後は、必ず報道ミックスゾーンを経て取材を受けた後に退場行動とする。
- ⑫ レーンで行うトラック競技において、欠場者のある場合はそのレーンは空ける。
- ⑬ 競技運営上必要があれば、1～9レーンを使用する。
- ⑭ 靴底厚は 400mまでのトラック競技と三段跳を除く跳躍種目は 20mm以下、800mと三段跳は 25mm以下とする。
- ⑮ 走高跳と棒高跳のバーの上げ方は以下のようにする。

男子走高跳

5. 表彰および取材について

優勝者にはその場で花束とトロフィーの贈呈を行うので観衆にお応えいただきたい。ま